

日本学術会議 科学者委員会 学術の大型研究計画検討分科会（第4回）
議事要旨

日時 平成27年7月27日（月）15:00～17:00
会場 日本学術会議 5-A（1）会議室
出席者 相原委員長、永井副委員長、苧阪幹事、岩本委員、宮崎委員、嶋田委員、高原委員（スカイプ参加）
陪席 日本学術会議事務局（盛田参事官、松宮参事官補佐、辻上席学術調査員、大西専門職、熊谷参事官付、鈴木参事官付）

配布資料：

- 資料1 前回議事要旨（案）
- 資料2 第22期学術大型研究計画公募要領等
- 参考1 分科会委員名簿

議 題

1) 前回 議事要旨（案）の確認

その他について：

科学技術・学術審議会学術分科会研究環境基盤部会学術研究の大型プロジェクトに関する作業部会の委員との意見交換は、懇談会を設け意見交換することとした。

2) 公募要領等について

- ・アンケートの回答の現状報告がなされた。
- ・公募を実施することは再確認された。
- ・マスタープラン2014区分IIの取り扱いについて：
審査対象とするかどうか、議論された。
改訂、更新された場合の取り扱いについて議論された。
- ・融合研究について：
1部の融合領域と同様に、2部、3部にも融合領域を設定する。
それに加えて、1部、2部、3部のそれぞれの部を超えた融合研究を対象とした研究領域を設定することが提案された。
- ・審査方法について：
分野をまたがる審査も可能とすること、融合研究の審査は、独自に行うことなどが提案された。
- ・マスタープラン2014の重点大型研究計画の取り扱いについて：
審査対象とするかどうか、この点については各部の夏季部会などの機会において意見を聞くこととした。
- ・学術研究領域について：
学術研究領域は、マスタープラン2014を基本とするのか、マスタープラン2014を改訂するか、さらに検討するとされた。
- ・前回公募フォームの具体的な変更点などが議論された。
申請書式について：融合領域の場合には、他の関連する領域名を記載する。その場合には、副領域は、必要ない。
- ・更新点について：
更新点を記述する項目を設ける。
何が更新されているか、変わっているか、変更点を明瞭に記載することを求める。

3) 今後の進め方について

公募要領は12月までに作成する予定とする。

4) その他

上記のマスタープラン 2014 の重点研究の取り扱いについて、および学術研究領域を改変するかどうかについて、次回委員会までに検討することが提案された。

以上